

浜田市定住自立圏共生ビジョン 成果指標の進捗状況

(平成29年度実績)

1 調査方法

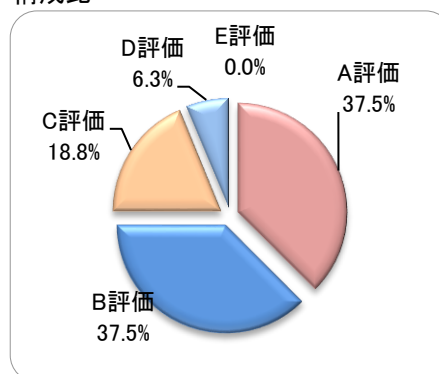
32項目の目標に対する平成29年度末の現状値から平成29年度の進捗状況进行评估した。

2 調査結果

(1) 各年度の進捗評価

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果・実施があった
- 「B」 計画を少し下回る成果・実施があった
- 「C」 計画の半分程度の成果・実施となった
- 「D」 計画を大きく下回る成果・実施となった
- 「E」 ほとんど成果・実施がなかった

構成比



(2) 「成果指標」の進捗状況

	項目数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
1 生活機能の強化に係る取組	13	6	5	2	0	0
A 医療	1	0	1	0	0	0
B 福祉	6	4	1	1	0	0
C 教育	2	1	1	0	0	0
D 産業振興	4	1	2	1	0	0
2 結びつきやネットワークの強化に係る取組	16	5	5	4	2	0
A 地域公共交通	3	1	1	1	0	0
B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備	1	0	0	0	1	0
C 道路等の交通インフラの整備	5	2	1	1	1	0
D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	1	1	0	0	0	0
E 地域内外の住民との交流・移住促進	6	1	3	2	0	0
3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組	3	1	2	0	0	0
A 宣言中心市等における人材の育成	3	1	2	0	0	0
合 計	32 (100.0%)	12 (37.5%)	12 (37.5%)	6 (18.8%)	2 (6.3%)	0 (0.0%)

連携する具体的事項

1 生活機能の強化に係る取組 **13項目**

A 医療

エ へき地医療確保体制の充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 浜田市国民健康保険診療所の常勤医師数の増加（へき地診療所等5施設）	3人	4人	3人	0.0%	B	地域医療対策課
※中山間地域の医療を支えるへき地診療所等の医師の人数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	3人	3人	—	—	—	—
	0.0%	0.0%	—	—	—	—
	B	B	—	—	—	—
<p>【進捗状況】 平成27年度から浜田医療センターに常勤医師を1人派遣しており、現在1人減の状態となっている。地域医療対策課専属の医療専門監が診療所長を兼務して、減員分を補っている。</p> <p>【今後の取組】 引き続き常勤医師1人の採用に向けて、積極的な勧誘に取り組む。</p>						

B 福祉

ア 子育て支援環境の整備

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 認可保育所定員数の増加	1,895人	1,955人	1,980人	141.7%	A	子育て支援課
※認可保育所の定員数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
<目標達成>	1,875人	1,980人	—	—	—	—
	-33.3%	141.7%	—	—	—	—
	A	A	—	—	—	—
<p>【進捗状況】 2園の新設により定員が大幅増となり、保育体制の充実が図られた。一方、年度中に、園児減少による1園の統合や認定こども園への移行の申し出に対応した。また、社会情勢、近隣保育所の運営状況を勘案して利用定員数増減の申し出が複数の保育所からあった。</p> <p>【今後の取組】 保育ニーズを見据えた上で、より多くの児童が希望の保育所に入所できるよう、各保育所と連携を密にし、定員の適正化に務める。平成31年度以降、目標値を2,000人に上方修正する。</p>						
② 放課後児童クラブ定員数の増加	790人	850人	825人	58.3%	B	子育て支援課
※放課後児童クラブの定員数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	790人	825人	—	—	—	—
	0.0%	58.3%	—	—	—	—
	B	B	—	—	—	—
<p>【進捗状況】 年度当初、1校で定員を超過したため、今後の児童数の推移などから施設整備が必要と判断し、平成30年度からの併用開始を目途に整備を行った。併せて、定員の見直しも行った。</p> <p>【今後の取組】 小学校との連携を密にし、次年度以降の児童数の推移を把握しながら、定員の適正化に努め、加入希望児童全員を受け入れられる体制を維持する。平成30年度以降、目標値を875人に上方修正する。</p>						
③ 地域子育て支援拠点数の増加	2施設	3施設	2施設	0.0%	A	子育て支援課
※地域子育て支援拠点数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	2施設	2施設	—	—	—	—
	0.0%	0.0%	—	—	—	—
	A	A	—	—	—	—
<p>【進捗状況】 老朽化した子育て支援センター「すくすく」の建設整備については、検討委員会を立ち上げ、協議を進めた。地域の子育て支援拠点施設については、三隅自治区において、3か所目の子育て支援センター「おひさま」が完成した。（開所は平成30年4月1日）</p> <p>【今後の取組】 子育て支援センター「すくすく」の基本構想を策定するとともに、市全域の子育て支援体制の在り方を検討する。また、3か所の子育て支援センターの連携を強化し、支援の充実を図る。</p>						

イ 高齢者・障がい者福祉サービスの充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 要介護認定率の増加の抑制（要介護者のみ） ※65歳以上の高齢者のうち、要介護1以上の認定者の割合 <目標達成>	18.8%	19.6%	18.6%	125.0%	A	健康長寿課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	18.7%	18.6%	—	—	—	—
	112.5%	125.0%	—	—	—	—
	A	A	—	—	—	—
【進捗状況】 1号被保険者19,739人のうち、要介護1以上の認定を受けた者は3,673人であった。						
【今後の取組】 認定率については、今後上昇することが介護保険事業計画等で推計されているため、目標値については据え置きとし、介護予防事業等を引き続き実施し、認定率増加の抑制を図る。						
② 認知症サポーター養成講座受講者数の増加 ※認知症の人と家族を地域で見守る応援者養成講座の受講者の総数	3,696人	6,000人	5,802人	91.4%	A	健康長寿課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	5,262人	5,802人	—	—	—	—
	68.0%	91.4%	—	—	—	—
	A	A	—	—	—	—
【進捗状況】 高等学校1校を含め計20回開催し、540人が受講した。						
【今後の取組】 高齢層の受講が多くなっているため、認知症地域支援推進員を中心に若年層に向けて受講の働きかけを行い、受講者の増加を図る。						
③ 地域生活支援拠点数の増加 ※障がい者の地域生活を支援する機能を集約した拠点数	0か所	1か所	0か所	0.0%	C	地域福祉課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	0か所	0か所	—	—	—	—
	0.0%	0.0%	—	—	—	—
	C	C	—	—	—	—
【進捗状況】 市内社会福祉法人が、同法人が運営する老朽化したグループホームの整備に併せて、地域生活支援拠点整備を検討している。						
【今後の取組】 地域生活支援拠点の整備は、事業実施する社会福祉法人等の人材確保やハード面の課題もある。事業実施可能な法人と連携しながら協議を進める。						

C 教育

ア 読書活動の強化

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 図書館利用登録率の増加 ※市民の図書館利用者カード登録者の割合 <目標達成>	34.3%	40.0%	40.5%	108.8%	A	中央図書館
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	36.3%	40.5%	—	—	—	—
	35.1%	108.8%	—	—	—	—
	B	A	—	—	—	—
【進捗状況】 平成25年度の中央図書館・三隅図書館開館以来、利用者数は安定的に伸びており、利用登録者の目標については達成することができた。						
【今後の取組】 子育て支援の一環として「ブックスタート」の取組を関係部署と連携して行い、幼児期からの読書習慣化と併せて利用登録の増加につなげるほか、登録者を対象にしたイベント等の開催などにより、登録需要の増加に努める。						

② 市民一人当たりの図書貸出冊数の増加 ※市民一人当たりの年間の図書貸出冊数	5.0冊	7.0冊	5.3冊	15.0%	B	中央図書館
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	5.4冊	5.3冊	—	—	—	—
	20.0%	15.0%	—	—	—	—
	B	B	—	—	—	—
【進捗状況】 市民への貸出冊数はほぼ横ばいで推移している。中央図書館・三隅図書館の認知度の向上などから微増となった。						
【今後の取組】 開館5周年を機に施設を訪問したことがない市民も関心を引く各種催し、イベント等を通じて図書館の認知度向上を図っていく。						

D 産業振興

A 観光振興

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 宿泊客数の増加 ※市内のホテル・旅館・民宿等の年間（1月～12月）宿泊客数	225,043人	250,000人	219,299人	-23.0%	C	観光交流課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	237,352人	219,299人	—	—	—	—
	49.3%	-23.0%	—	—	—	—
	A	C	—	—	—	—
【進捗状況】 平成29年7月の豪雨災害の発生、しまね海洋館アクアスのシロイルカパフォーマンスの休止（H29.5.15～H30.3.23）、市中心部のホテル1軒が建替えなどのため、宿泊客数は昨年よりは減少した。近年、宿泊客は、シングル利用の希望が多く、和室であってもシングル利用するため、部屋の稼働率は高くなる。						
【今後の取組】 引き続き、宿泊者客数の増加のため、合宿誘致等の各種政策に取り組む。						
② 合宿等誘致人数の増加 ※合宿等誘致事業の年間利用人数	3,642人	5,000人	4,036人	29.0%	B	観光交流課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	3,634人	4,036人	—	—	—	—
	-0.6%	29.0%	—	—	—	—
	C	B	—	—	—	—
【進捗状況】 市内合宿施設への営業活動を行い、合宿誘致活動を実施している。大会前日の合宿利用の周知と大口の団体利用の増加に伴い、申請件数、利用人数ともに過去7年で最高となった。						
【今後の取組】 市外・県外施設への営業活動や体験教育旅行の誘致の取組を行い、合宿誘致人数の増加に努める。						

イ 地域ブランド化

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加 ※ブランド規格に基づく「どんちっち三魚」の取扱業者（団体）数	130店	140店	138店	80.0%	A	水産振興課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	136店	138店	—	—	—	—
	60.0%	80.0%	—	—	—	—
	A	A	—	—	—	—
【進捗状況】 5件の加盟があったが、廃業等による退会が3件あった。近年の加盟業者の傾向としては、市外・県外の事業者の割合が高くなっている。						
【今後の取組】 今後も認知度の向上に努め、広域的な展開を図る。 平成30年度以降、目標値を162店に上方修正する。						

② 振興作物農業産出額の増加 ※振興作物（大粒ぶどう、赤梨、西条柿）の農業産出額	173,295千円	200,000千円	193,627千円	76.1%	B	農林振興課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	158,671千円	193,627千円	—	—	—	—
	-54.8%	76.1%	—	—	—	—
	C	B	—	—	—	—
【進捗状況】 市単独の農産物振興プロジェクト事業補助金の活用により、農業用施設整備や補植等の実施で園地の維持を図るとともに、生産量の確保に努めている。平成29年に完成した柿加工場竣工に伴い、あんぼ柿の生産が倍増し、農業産出額の増加につながった。また、大粒ぶどう、赤梨、西条柿の3果樹について、生育が順調であり収量増となったため、算出額の増加につながった。						
【今後の取組】 西条柿については、平成29年に完成した加工施設によって、あんぼ柿の生産拡大を図る。梨については、荒廃園地を整備後、ジョイント栽培による早期成園化や既存園の改植を進め、園地を維持することで生産量の拡大を図る。大粒ぶどうについては、リース事業を導入し、面積及び生産量の拡大を目指す。						

2 結びつきやネットワークの強化に係る取組 16項目

A 地域公共交通

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 生活路線バス1便当たり利用者数の維持 ※生活路線バス1便当たりの年間利用者数	2.0人/便	2.0人/便以上	1.5人/便	-25.0%	C	まちづくり推進課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	1.6人/便	1.5人/便	—	—	—	—
	-20.0%	-25.0%	—	—	—	—
	C	C	—	—	—	—
【進捗状況】 目標達成に至らなかった主な要因は、人口減少とバスに乗ることのできない高齢者の増加と考える。平成30年度からの契約更新に向け、路線や便数の見直しを行った。一方、敬老乗車券を販売するなど、住民の移動手段への経済的支援を昨年度に引き続き実施した。						
【今後の取組】 路線ごとの便数、ルート等を見直すとともに、それぞれの地域の特性に応じた交通体系の構築を目指す。平成30年度に新たな地域公共交通計画を策定する。						
② 予約型乗合タクシー1便当たり利用者数の維持 ※予約型乗合タクシー1便当たりの年間利用者数	1.8人/便	1.8人/便以上	1.6人/便	-11.1%	B	まちづくり推進課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	1.5人/便	1.6人/便	—	—	—	—
	-16.7%	-11.1%	—	—	—	—
	C	B	—	—	—	—
【進捗状況】 目標達成に至らなかった主な要因は、利用対象者の減少と考える。平成30年度からの契約更新に向け、路線や便数の見直しを行った。一方、敬老乗車券を販売するなど、住民の移動手段への経済的支援を昨年度に引き続き実施した。						
【今後の取組】 路線ごとの便数、ルート等を見直すとともに、それぞれの地域の特性に応じた交通体系の構築を目指す。平成30年度に新たな地域公共交通計画を策定する。						
③ 輸送事業に取り組む地域自主組織数の増加 ※主体的に輸送事業に取り組む地域自主組織の数 <目標達成>	1団体	3団体	3団体	100.0%	A	まちづくり推進課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	1団体	3団体	—	—	—	—
	0.0%	100.0%	—	—	—	—
	B	A	—	—	—	—
【進捗状況】 2地区においてコミュニティワゴン（市からの無償貸与の自家用車）を導入し、輸送活動が開始された。						
【今後の取組】 地域の自主的な輸送事業のモデルとなるようコミュニティワゴン導入を進める。						

B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 携帯電話不感地域の解消 ※携帯電話が利用できない集落の数	8集落	0集落	8集落	0.0%	D	情報政策課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	8集落	8集落	—	—	—	—
	0.0%	0.0%	—	—	—	—
	D	D	—	—	—	—
【進捗状況】 携帯基地局の整備に関しては、国の補助事業等を活用して携帯事業者の初期負担が少ない枠組みを設けているが、採算性の問題から事業者の参画が進まなかった。						
【今後の取組】 引き続き、携帯事業者に対して参画の要請を行う。						

C 道路等の交通インフラの整備

ア 生活幹線道路の整備

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 市道浜田527号線道路改良 ※〔浜田自治区〕浜田駅周辺の市道を整備し、駅南北の連絡を円滑にする。	0%	100%	13%	13.0%	C	建設整備課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	5%	13%	—	—	—	—
	5.0%	13.0%	—	—	—	—
	C	C	—	—	—	—
【進捗状況】 道路設計は完了し、踏切部の詳細設計をJRに委託中である。用地測量、物件調査については一部完了している。						
【今後の取組】 工事着手し、早期完成を目指す。						
② 市道小国峠線道路改良 ※〔金城自治区〕狭小な市道の改良を行う。	0%	50%	0%	0.0%	D	建設整備課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	0%	0%	—	—	—	—
	0.0%	0.0%	—	—	—	—
	D	D	—	—	—	—
【進捗状況】 県河川、県道改良が伴う事業のため、昨年度に引き続き島根県と協議を進めている。						
【今後の取組】 島根県との協議を重ね、事業に着手する。						
③ 市道戸地線道路改良 ※〔旭自治区〕集落間を結ぶ幹線市道の整備を行う。	10%	40%	18%	26.7%	B	建設整備課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	13%	18%	—	—	—	—
	10.0%	26.7%	—	—	—	—
	B	B	—	—	—	—
【進捗状況】 用地取得、補償業務を実施し、工事を継続実施している。						
【今後の取組】 引き続き、用地取得、補償業務の完了及び工事を継続実施し、早期完成を目指す。						

④ 市道谷線道路改良 ※〔弥栄自治区〕主に突角剪除を行う。 <目標達成>	0%	50%	76%	152.0%	A	建設整備課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	54%	76%	—	—	—	—
	108.0%	152.0%	—	—	—	—
	A	A	—	—	—	—
【進捗状況】 1～4工区のうち、2、3工区が完成し、4工区について継続実施している。						
【今後の取組】 1工区の工事に着手し、4工区と並行して実施しながら早期完成を目指す。 平成30年度以降、目標値を100%に上方修正する。						
⑤ 市道白砂1号線道路改良 ※〔三隅自治区〕急カーブ、狭小市道の改良、及び集落の環状機能の充実を図る。 <目標達成>	30%	50%	85%	275.0%	A	建設整備課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	64%	85%	—	—	—	—
	170.0%	275.0%	—	—	—	—
	A	A	—	—	—	—
【進捗状況】 測量設計、用地測量調査、用地取得、補償については完了し、工事を継続実施している。						
【今後の取組】 引き続き、工事実施を進め、早期完成を目指す。 平成30年度以降、目標値を100%に上方修正する。						

D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

ア 地産地消の推進

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 学校給食での地域食材利用率の増加 ※市内小中学校の給食における地元食材利用率 <目標達成>	58.2%	70.0%	71.8%	115.3%	A	教育総務課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	70.9%	71.8%	—	—	—	—
	107.6%	115.3%	—	—	—	—
	A	A	—	—	—	—
【進捗状況】 魚食普及や食育の面から地元産の魚を給食に出す取り組みを進めてきた。県内他市からも要望があり、地元の魚が給食物資に登録された。						
【今後の取組】 引き続き、積極的に地元産食材を使用していく。地元産食材が給食の物資として登録できるよう産業経済部や関係機関との連携を図る。						

E 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 定住施策の充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① U・Iターン者数の増加 ※各種支援制度を通じたU・Iターン者数 <目標達成>	34人	50人	95人	381.3%	B	政策企画課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	57人	95人	—	—	—	—
	143.8%	381.3%	—	—	—	—
	A	B	—	—	—	—
【進捗状況】 市の各種支援制度等を通じたU・Iターン者数は増加したが、島根県の調査による数値は減少した。【参考】石見部他市の平成29年度U・Iターン者数（島根県人口移動調査）大田市284人、江津市151人、益田市236人、浜田市212人（平成28年度浜田市256人）						
【今後の取組】 定住相談員を配置するとともに、ふるさと島根定住財団や市雇用担当部署との連携を深め、Uターン者の地元就職やIターン者の移住に結びつく取組を進める。平成30年度以降、目標値を100人に上方修正する。						

② U・Iターン者との意見交換会の開催回数の増加 ※意見交換会の年間開催回数	1回	3回	2回	50.0%	B	政策企画課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	2回	2回	—	—	—	—
	50.0%	50.0%	—	—	—	—
	B	B	—	—	—	—
【進捗状況】 シングルペアレント介護人材育成事業の新規研修生受入時の歓迎交流会に加え、ワークショップ形式のU・Iターン者との意見交換会及び交流会を行った。						
【今後の取組】 引き続き、新規研修生受入時には、交流会を開催するとともに、シングルペアレント介護人材育成事業以外でのU・Iターン者との意見交換会等を開催する。						
③ U・Iターン相談件数の増加 ※定住フェア、空き家バンク制度等を通じた年間相談件数	255人	300人	251人	-8.9%	C	政策企画課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	286人	251人	—	—	—	—
	68.9%	-8.9%	—	—	—	—
	A	C	—	—	—	—
【進捗状況】 定住相談員が1年間空席となったことなどが影響し、移住先を選択する段階での情報収集に関する相談件数は減少した。一方、具体的な相談は増加した。						
【今後の取組】 定住相談員を配置し、U・Iターンの相談窓口業務を充実させる。また、ふるさと島根定住財団など関係機関との連携を深めるとともに、U・Iターン就業特設ウェブサイトや移住促進パンフレット等により情報発信の充実を図る。						

イ 空き家の利活用

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 空き家バンク登録件数の増加 ※空き家バンクへの年間登録物件数 <目標達成>	13件	20件	71件	828.6%	A	政策企画課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	66件	71件	—	—	—	—
	757.1%	828.6%	—	—	—	—
	A	A	—	—	—	—
【進捗状況】 専用HP、SNS及び市報等で空き家バンク制度の周知を行うとともに、空き家相談員を中心に相談対応に努めた。また、平成28年度に創設した家財処分や物件改修の補助金の利用が増加し、空き家バンク登録や成約件数の増加につながった。						
【今後の取組】 引き続き、制度の周知に努めるとともに、関係機関と連携を深め、U・Iターン者等の住環境の整備及び空き家の利活用を促進する。平成30年度以降、目標値を71件に上方修正する。なお、平成31年4月に予定されている土砂災害特別警戒区域指定の影響については、現在のところ不透明であるが、登録件数減少の要因となる可能性がある。						

ウ 安全で安心なまちづくり

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 自主防災組織の組織率の増加 ※世帯数に対する組織された地域の世帯数の割合	46.5%	85.0%	66.1%	50.9%	C	安全安心推進課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	65.8%	66.1%	—	—	—	—
	50.1%	50.9%	—	—	—	—
	A	C	—	—	—	—
【進捗状況】 組織の団体数は増えたが、既存組織の受け持ちエリア再編の色合いが強く、率の増加には至らなかった。						
【今後の取組】 引き続き、防災出前講座等を活用し、自主防災組織設立を働きかけていく。						

② 防犯出前講座の開催回数の増加 ※講座の年間開催回数	6回	40回	9回	8.8%	B	安全安心推進課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	5回	9回	—	—	—	—
	-2.9%	8.8%	—	—	—	—
	D	B	—	—	—	—
【進捗状況】 「防犯」単独での出前講座の申込数は少なく、市民の関心を引くことに課題を残している。						
【今後の取組】 防災出前講座や各部署が主催する集会（高齢者対象）に同行し、積極的に実施していく。						

3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組 3項目

A 宣言中心市等における人材の育成

ア 人材の育成

成果指標	策定時 現状値	目標値	平成29年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 市民交流促進事業実施件数の増加 ※大学等と市民団体とが実施する交流事業の6年間の合計件数	6件	50件	22件	44.0%	A	まちづくり推進課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	12件	10件	—	—	—	—
	24.0%	44.0%	—	—	—	—
	A	A	—	—	—	—
【進捗状況】 新規の交流事業も行われ、学生の地域活動への参画を促すことができた。						
【今後の取組】 新たな交流が生まれるよう学生、地域双方に広報、浜田市ホームページ等を通じて積極的に周知を図り、対象を拡大する。						
② 人材育成研修会等の開催回数の増加 ※地域リーダー育成に関する研修会の年間開催回数	2回	6回	3回	25.0%	B	まちづくり推進課
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	3回	3回	—	—	—	—
	25.0%	25.0%	—	—	—	—
	B	B	—	—	—	—
【進捗状況】 地区まちづくり推進委員会において地域活動を担う市民による「先進地視察」と、その後の「報告会」を開催した。また、人づくり郷づくりフォーラムを開催した。地域を越えた地域リーダー同士の交流と連携につながった。						
【今後の取組】 地区まちづくり推進委員会へのヒアリングで要望の多かった「地域を越えた交流や研修会」を積極的に実施する。						
③ 審議会等への女性参画率の増加 ※浜田市男女共同参画推進計画に掲げる審議会等への女性参画率	25.2%	40.0%	29.2%	27.0%	B	人権同和教育啓発センター
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	27.1%	29.2%	—	—	—	—
	12.8%	27.0%	—	—	—	—
	B	B	—	—	—	—
【進捗状況】 女性委員の登用に努めている。男女共同参画推進計画（第3次）に基づき、参画に向けて基本的な方向と具体策を示した。						
【今後の取組】 女性の視点に立った政策や方針決定ができるよう、男女共同参画推進計画の周知や各課との連携、啓発を図っていく。						